

『こんな男がいても いいじゃないか塾』

第2期修了生

勝島大輔さん (37歳)



きっかけは、2018年度『第33回上野同和教育研究協議会研究大会』の参加資料の中に同封された男塾のチラシです。内容を見て参加してみようかなと思いました。

帰宅して、妻に相談すると「楽しそうやん。料理教室もあるし、ぜひ行ってきて。」との返事。私自身、5回の講座や料理教室の内容に興味をもったのですが、

『人生をもっと楽しく、 自立して自分らしく 生きるためのヒントを学ぶ』

案内文の中にあっった言葉が特に印象的で、ぜひ参加して学ばせてもらおうと申し込みました。

講座では、「メディアについて」「男女共同参画の視点に立って見ていくことや生活の中で妻と関わる上で大切にしたいこと」「職場・地域・家庭の中で男性の立場でできること」について考えました。

女性男性の視点からそれぞれの立場に立って物事を捉えていくことが大切だと改めて感じました。

調理実習では、グループに分かれて和気あいあいと、魚をさばいたり、巻き寿司を作りました。

巻き寿司は、実際に家で作り、妻も子ども達も「おいしい!」と言ってくれ、本当に嬉しかったです。



男塾で作った巻き寿司など

講座や調理実習で教えてもらったことを、今度は家庭や仕事の中で活かしていくことが大切だと思いました。

家庭では、家事や子育てに積極的な関わりを意識しています。

仕事では、学校現場で働いているからこそ、性別関係なくいろんな場面で活躍できるような社会をこれからも目指していきたいです。

今回、男塾で自分らしく生きるヒントを得た勝島さん。
早速、調理実習を実践されるなど、家庭や職場で積極的な意識をもって進んでおられます。
新しい時代の幕は明けました。
「こんな男がたくさんいたらいいじゃないか!!」

